

鼠経部脂肪肉腫の術後13年目のうっ血性心不全

A Case of Congestive Heart Failure 13 Years After Inguinal Liposarcoma Was Resected

岡田 義信* 大倉 裕二

Yoshinobu OKADA, MD*, Yuji OKURA, MD

新潟県立がんセンター新潟病院内科

症例 49歳, 男性.

既往歴: 35歳時に右鼠経部の脂肪肉腫 (myxoid type) のため, 鼠経部以下が切断された. 放射線治療や化学療法は行われなかった. 39歳時本態性高血圧. 以後降圧薬を服用していた.

現病歴: 2007年12月上旬から労作時の疲労感と頻脈を自覚. 次第に増強して下旬には呼吸困難を生じたために12月31日に緊急入院した.

身体所見: 身長171.3 cm, 体重72.3 kg. 血圧110/84 mmHg. 脈拍数110/分・整. 頸静脈は努張, 心音正常, 雑音なし. 右下肺の呼吸音減弱. 肝を右鎖骨中線上に2横指触知. 下肢に浮腫あり.

検査所見: 血液, 血清生化学成績には特記すべき異常なし. 心電図は洞性頻脈 (112/分). 胸部X線写真は右2弓と左4弓の著しい突出 (CTR75%) と右側胸水貯留. 心エコー検査にて, 心嚢内に, 心を包むように密に接する可動性のない巨大な充実性腫瘍とその周囲に心嚢液を認めた. 腫瘍の心膜外および心腔内へ突出は認められなかった. 各四心腔径とも縮小傾向であった (Fig. 1). 左室および右室の収縮期壁運動は良好であり, 心膜の肥厚はなく, 有意な心弁膜症も認められなかった. 下大静脈の拡張が認められた.

J Cardiol Jpn Ed 2008; 2: 241-243

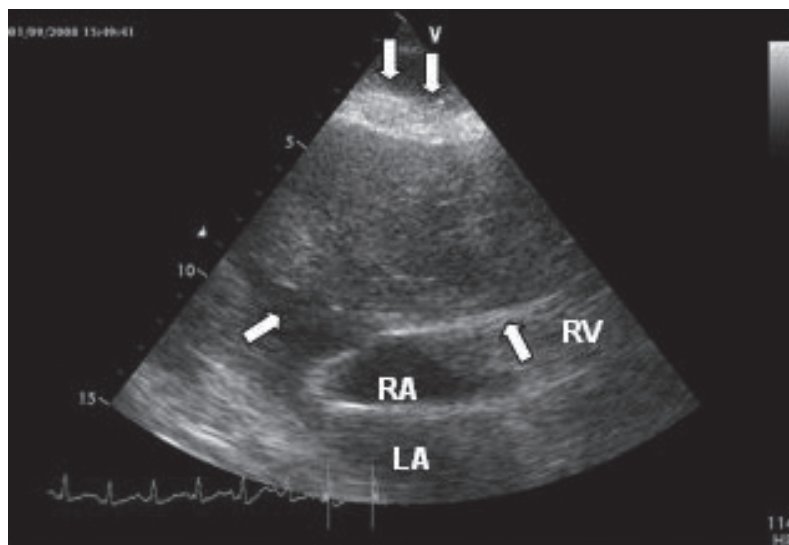


Fig. 1 A

*新潟県立がんセンター新潟病院内科

951-8566 新潟市中央区川岸町 2-15-3

E-mail: okada@niigata-cc.jp

2008年5月20日受付, 2008年5月30日改訂, 2008年6月4日受理

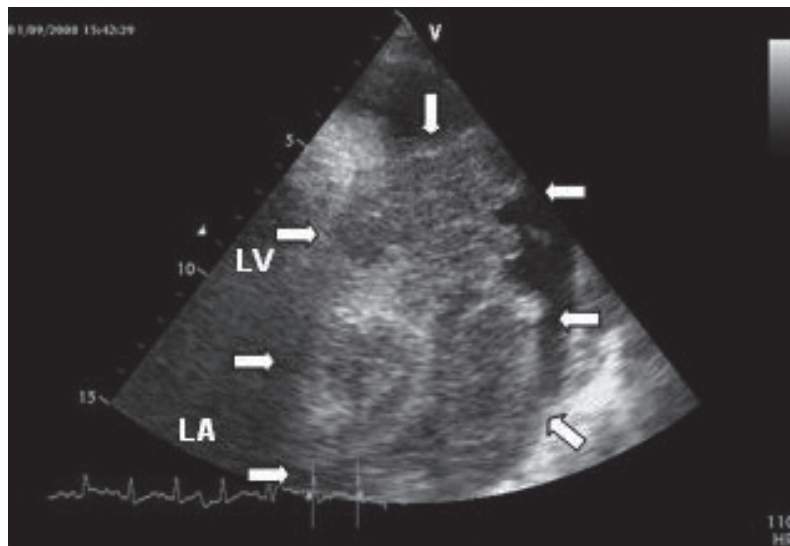


Fig. 1 B

診断のポイント

Figure 1Aは肋骨下から、Fig. 1Bは心尖部から観察した心エコー図像である。胸腹部造影CTでは、心エコー図と同様に心嚢内に心を広範囲に包むように存在する巨大な充実性腫瘍が認められた (Fig. 2)。右胸水は漏出性であり細

胞診は陰性であった。また、他の臓器には腫瘍は認められなかった。以上から、この充実性腫瘍による収縮性心膜炎に類似した右心不全状態と判断した。

肋骨下から切開して腫瘍の一部を生検した。ピンク色の充

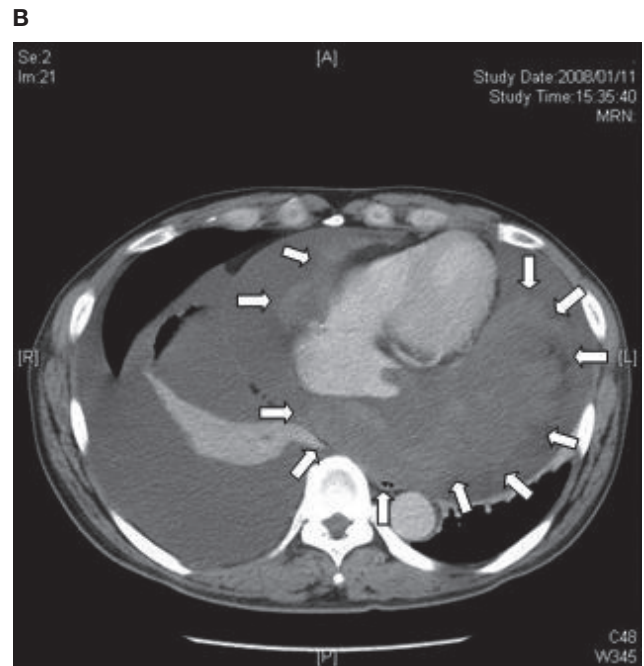
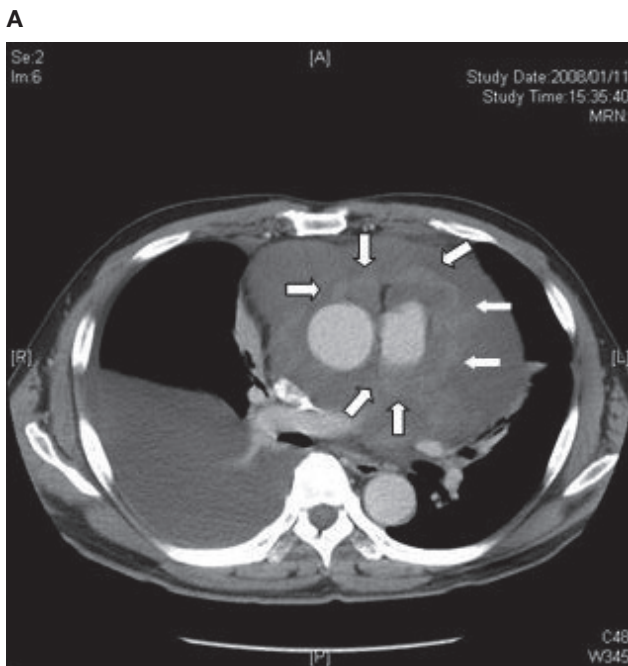


Fig. 2

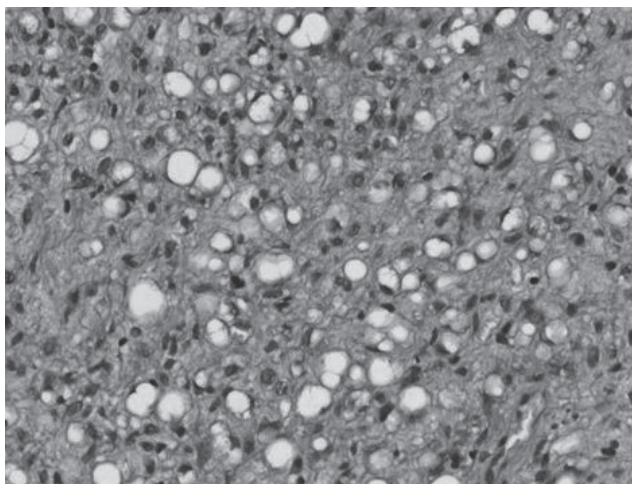


Fig. 3

実性腫瘍で脂肪肉腫の再発と診断された (Fig. 3)。同時に心嚢液も 500 ml あまり排液したが、右心不全は改善しなかった。治療は、手術、放射線治療、化学療法のいずれも効果が期待できないと判断された。症状は利尿薬の投与にて軽快している。

悪性腫瘍が心臓に転移する部位の割合は、剖検では心膜が最も多く 60% 以上、続いて心外膜と心筋が 30% 以上、心腔内が約 5% といわれている。しかし、臨床問題になる心

臓への転移は、大量の心嚢液貯留による心タンポナーデがほとんどを占め (心嚢内には腫瘤を形成しない)、次に少数であるが心腔内への伸展転移によるうっ血性心不全や心筋に浸潤して不整脈や心電図異常を来たした例が従来報告されているものである。剖検上心筋への転移は少なからずみられるが、臨床問題になることはまれである。本例のように、心嚢内だけに巨大な腫瘤を形成する転移形態は極めてまれで従来ほとんど報告がないが、脂肪肉腫が本例のように心嚢内に巨大な転移巣を形成した例が報告されている¹⁾。極めてまれではあるが、脂肪肉腫においては心嚢内に巨大な転移巣を形成する例が存在すると考えられる。また、悪性腫瘍が心臓だけに転移することも珍しい。

Diagnosis: 脂肪肉腫の心嚢内再発。

Keywords: 脂肪肉腫, 心エコー法 (経胸壁), 転移性心膜腫瘍, 心不全。

文 献

- 1) Aoyama A, Isowa N, Chihara K, Ito T. Pericardial metastasis of myxoid liposarcoma causing cardiac tamponade. *Jpn J Thorac Cardiovasc Surg* 2005; 53: 193-195.

Fig. 1 Transthoracic echocardiography.

A: subcostal view. B: apical view. Arrows indicate pericardial mass.

RA: right atrium, RV: right ventricle, LA: left atrium, LV: left ventricle.

Fig. 2 Chest enhanced CT.

Arrows indicate pericardial mass around heart.

Fig. 3 Microscopic section of the pericardial mass (x20 HE stain).